# 集合住宅での脱炭素 チャレンジ 一断熱強化など一

一般社団法人団地暮らしの共創 事務局長(理事) 小柴 健一

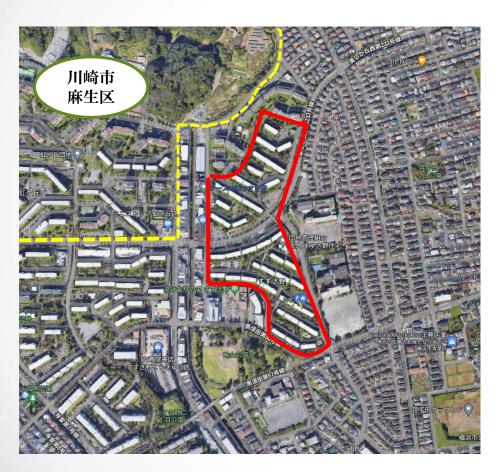
# すすき野団地の立地1



- ・東急田園都市線・市営地下鉄「あざみ野」駅バス15分
- ・東急田園都市線「たまプラーザ」 駅バス15分
- ・小田急線「新百合ヶ丘」駅 バス20分
- ・2030年市営地下鉄「あざみ野」 ~「新百合ヶ丘」延伸予定 すすき野地区の新駅開業予定

↑ここ重要

# すすき野団地の立地2



3街区470戸 6街区350戸 総戸数820戸 敷地面積約66,000m (東京ドーム1.5個分) 住民数約1470人弱 高齢化率:約47% 一戸当たり平均1.7人 ・・・それも高齢者。

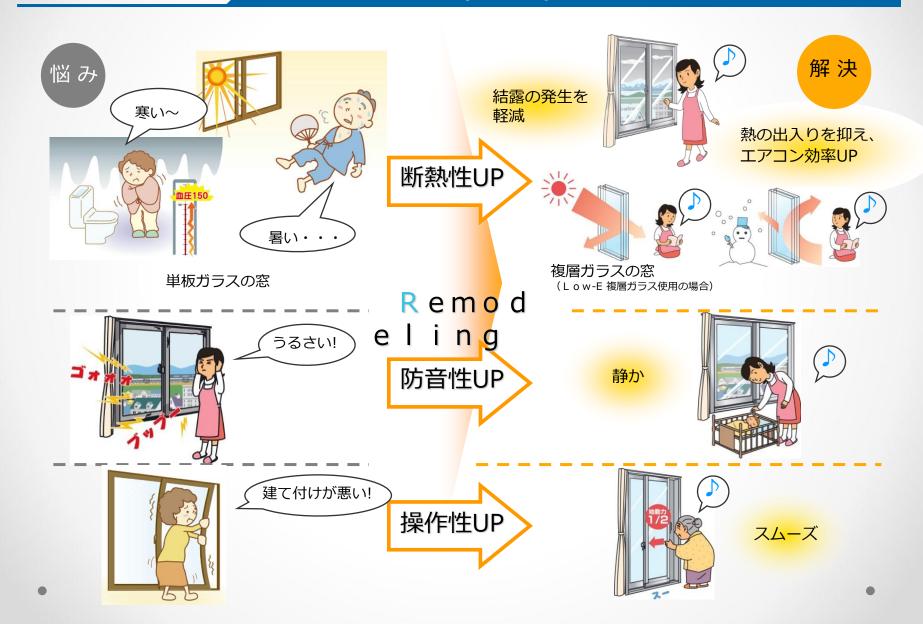
# すすき野団地の課題

- ●住民の高齢化
- ●設備・施設の高経年化
- ●「管理組合」「自治会」 組織の老い

・・・3つの大きな「老い」の問題

# 2020年サッシ改修工事実施

# ~心地よい住空間に~



# サッシ性能

# ■今のサッシの性能



改修すると

■ご提案性能



新築当時予測性能



(2000Pa)



〈8等級〉



(350Pa)



設定なし



設定なし

ご提案のサッシ性能



S-6 (2800Pa)





**\//-5** \(500Pa\)





-2 (4.07W/(m2·

## 立地・環境条件より設定される性能値

強風などの風圧に対して、どれだけ 耐えられるかを示す性能です。 数字が大きいほど耐風圧性が 高くなります。(S-1~7)



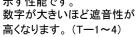
サッシのすき間から、どれだけの 空気が漏れるかを示す性能です。 数字が大きいほどすき間風が 少なくなります。(A-1~4)



### 水密性

室内への雨水の浸入を、どれだけ 防げるかを示す性能です。 数字が大きいほど漏水危険性が 低くなります。(W-1~5)

屋内・屋外間の音の出入りを、イ どれだけ遮ることができるかを 示す性能です。





## 断熱性

屋内・屋外間の熱の出入りを、どれだけ 抑えることができるかを示す性能です。 数字が大きいほど断熱性が





# 2021年「団地再生マスタープランの策定」

目標(ビジョン)

### 未来に住みつなぐ100年団地

~持続可能な団地を目指して~



使命(ミッション)

## 1 あんしん・安全・安寧にずっと暮らせる団地

人生の節目や社会環境が大きく変わっても、 不便なく、魅力的で、ずっと住み続けたいと思える団地へ 不安を一人で抱え込まず、気軽に共有ができる環境が整った団地へ

## 2 資産価値の高い団地

建て替えにに拠らず、修繕・改修で住み続けられる団地へ 団地ならではの付加価値もあり、時間が経過しても適正な価格で取引される住まいへ

### 3 災害に強い団地

設備や組織の充実・避難訓練のほか、 いざという時に自然に助け合えるような「顔が見える」コミュニティの醸成

## 4 自然と調和した環境にやさしい団地

一般的なマンションと比べ、空間的にゆとりのある団地 その長所を有効活用して新しい空間を作り上げたり、緑化で持続性のある住まいへ

## 5 ゆたかな多様性があり、誰一人取り残さない団地

老いも若きも、身体が不自由でも、どんな世帯のかたちでも、のびのび暮らせる団地へ 支えあい、助けあい、分かちあうことを、大げさに考えずにできる仕組みへ 人・コト・モノ・仕事が団地内で循環する自立した団地へ

# これからの取り組み案









すすき野団地RE100×100年

太陽光発電施設導入 蓄電池の導入 再工ネ供給契約 省工ネ設備導入(外断熱工法で の改修) IoT運用改善によるCO2削減



EVスタンド導入(e-bike,EV車) 防災時の再エネ利用 団地内外モビリティ開発 集会所のクールビズ・ウォームビズ 非化石証書の活用



利用が少ない公園を 特化型のチャレンジパークへリノベ!



アウトドア公



農作業を楽しむ菜



遊びに特化した公園



高齢者に優しい高さのある花壇!



ニワトリ飼育!



31



( かまど料理を楽しめる団地



手押し式のホンプ井戸で 日常から防災を学ぶ!



木温れ日マルシェ



ヤギと一緒に縁のお手入れ!



オシャレな緑地管理



落ち葉コンポストで団地腐業土!



次世代に向けてサクラ育成!



蜜源植物を植えてはちみつの収穫!



ホップ緑化でピールづくり



みんなで育てる麦丸



屋上ソーラー発電を利用した EV カーシェアリング!



夜はひろばに出て焚火

歳を重ねても、障がいがあっても、 最期の最期まで住み慣れた 我が家で暮らすこと。

そして、環境にも配慮しながら、「たすけあい」「ささえあい」「わかちあう」100年団地へ。

住まいがあってこその、「人生」と「暮らし」。